

2011年3月の沖縄県八重山諸島の調査で記録された 両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類

今井 忍・東原 旬美・片山 涼子・藤野 恵佳・秋山 由子・
中村 あづ紗・前潟 光弘*・桜谷 保之*

近畿大学農学部里山修復プロジェクト生態調査班

*近畿大学農学部環境管理学科

Report of biological research on amphibians, reptiles, wild birds and mammals in Yaeyama islands, Okinawa, Japan in March, 2011

Shinobu IMAI, Kumi HIGASHIHARA, Ryouko KATAYAMA, Ayaka HUZINO,
Yuko AKIYAMA, Azusa NAKAMURA, Mitsuhiro MAEGATA, Yasuyuki
SAKURATANI

Biological research group of the Satoyama Restoration Project of Kinki University

**Department of Environmental Management*

Synopsis

Biological exploration on the Yaeyama islands (Ishigaki Is. and Iriomote Is.) was carried out from March 1st to the 6th in 2011 in order to better understand the biodiversity of Japan. These areas are known for being the habitation for many endemic species and subspecies which are characterized by a unique subtropics. The present exploration recorded 3 species in total, including 3 families of amphibians, 6 families and 8 species of reptiles, 22 families and 42 species of birds, 2 families and 2 species of mammals. Within these species, there were 2 kinds of natural treasures of Japan.

Keyword: Yaeyama islands, Amphibian, Reptile, Bird, Mammal, Natural treasure of Japan.

1. はじめに

沖縄県の琉球列島に属する八重山諸島は、それぞれが周りを海に囲まれており島ごとに少しずつ異なった生物相をしている。さらに、地理的には本州より台湾に近く温暖な気候であり、トカラ海峡にある渡瀬線を挟んで本州の生物相とは異なった独自の生物相を形成しており¹⁾、八重山諸島にのみに生息する固有種や亜種が多い。しかし、近年、人間活動に伴う環境変化、有害生物駆除のために持ち込まれた外来生物やペットによって様々な影響を受けている。

今回の調査は近畿大学農学部環境管理学科環境生態学研究室や里山修復プロジェクトの生態調査班に所属するメンバーを中心に沖縄県の八重山諸島（石垣島、西表島など）で行った。本報では、今回の調査（2011年3月1日～3月6日の6日間）で確認された両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類について報告する。

2. 調査地および調査方法

今回の調査は2011年3月1日～3月6日の6日間、石垣島、西表島、竹富島、黒島で行った。

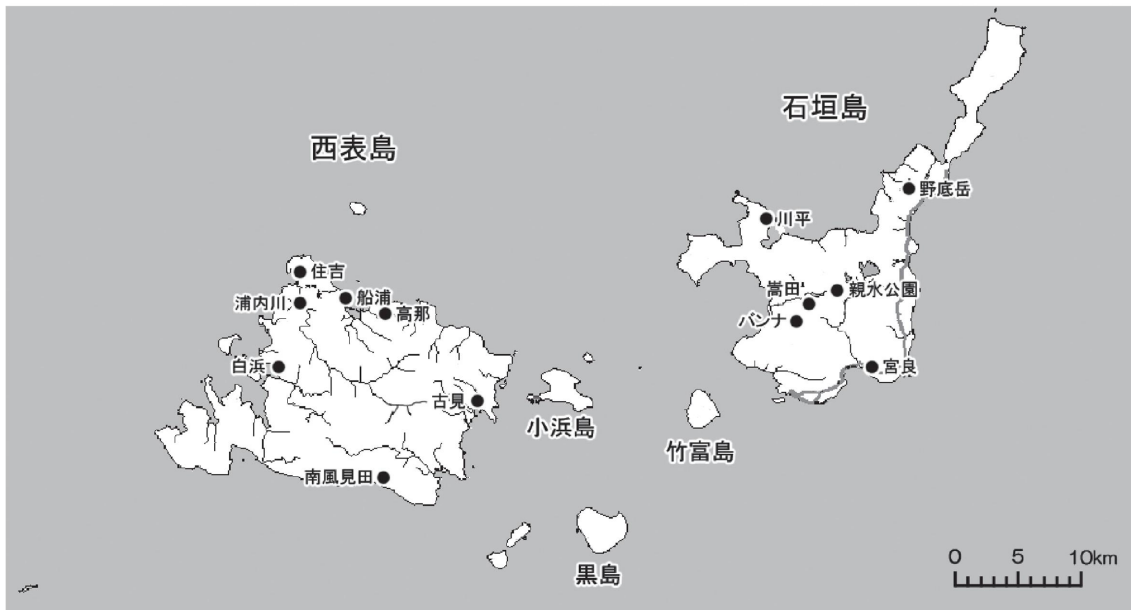


図1. 2011年3月1日～6日の調査地

3月1日は竹富島で、3月2日は黒島および、石垣島（名蔵ダム、嵩田周辺）で、3月3日～5日は西表島で、3月6日は西表島（船浦、南風見田、古見、白浜）、石垣島（名蔵ダム、嵩田周辺）で調査を行った。各調査地の詳細は図1のとおりである。また、今回の調査期間の天候は表1のとおりであった。

表1. 調査地期間中の天候

日程	調査地	天候	日中の気温
2011.3.1	竹富島	雨	21℃
2011.3.2	黒島、石垣島	曇り	17℃
2011.3.3	西表島	曇り時々雨	19℃
2011.3.4	西表島	曇り時々雨	
2011.3.5	西表島	晴れ	
2011.3.6	西表島、石垣島	曇り	

調査方法は、各動物ともライン（ルート）センサス法で、姿や声を種ごとに重複を避けて記録した。また、この調査方法以外で確認された種も合わせて報告する。結果は目撃日、目撃場所、個体数、性別（雌雄の判別が出来た場合のみ）の順で示した。

目撃日に関しては、月をローマ数字、日を算用数字で示した。

種の同定や学名の表記には、両生類、爬虫類は「決定版日本の両生爬虫類」²⁾、「山溪ハンディ図鑑」^{3) 4)}、「日本の爬虫類・両生類飼育図鑑」⁵⁾、鳥類は「日本の野鳥590」⁶⁾、哺乳類は「日本の

哺乳類」⁷⁾を使用した。

3. 調査結果

今回の調査では両生類3科3種、爬虫類6科8種、鳥類22科42種、哺乳類2科2種が確認された。その中には国指定天然記念物のキシノウエトカゲやカンムリワシ、固有種のヤエヤマアオガエルやサキシマハブ、固有亜種のサキシママダラなどが確認された⁸⁾。また、1971年以降琉球列島で記録されだしたオガサワラヤモリや人為的分布とされるブラーミニメクラヘビなどが記録された。2010年の3月と今回（2011年3月）の調査で記録された生物のリストを付表1と付表2に示した。

図版の写真の撮影者は次のように（ ）内に略号で示した。今井忍（SI）、藤野恵佳（AH）、片山涼子（RK）。

I. 両生類

両生綱 Amphibia

無尾目 Anura

アオガエル科 Rhacophoridae

1. ヤエヤマアオガエル

Rhacophorus owstoni (図版 A-1、A-2)

日本固有種

(Ⅲ-3 西表島船浦 ♂1鳴き声) (Ⅲ-4 西表島

南風見田 1) (Ⅲ-5 西表島船浦 幼生 20 以上)

カナヘビ科 Lacertidae

ジムグリガエル科 Microhylidae

2. ヒメアマガエル

Microhyla ornata (図版 B-1、B-2)

(Ⅲ-3 西表島美原 幼生 20 以上) (Ⅲ-3 西表島船浦 幼生 20 以上) (Ⅲ-4 西表島南風見田 卵塊) (Ⅲ-4 西表島南風見田 成体 5)

アカガエル科 Ranidae

3. サキシマヌマガエル

Rana sp. (図版 C)

日本固有種

(Ⅲ-6 石垣島浜崎町 1)

Ⅱ. 爬虫類

爬虫綱 Reptilia

有鱗目 Squamata

ヤモリ科 Gekkonidae

1. ホオグロヤモリ

Hemidactylus frenatus (図版 D)

(Ⅲ-1 竹富島 10 以上) (Ⅲ-3 西表島船浦 4)

2. ミナミヤモリ

Gekko hokouensis (図版 E)

(Ⅲ-2 石垣島名蔵ダム 2)

3. オガサワラヤモリ

Lepidodactylus lugubris

みはらし旅館内で発見

(Ⅲ-3 西表島船浦 1)

トカゲ科 Scincidae

4. キシノウエトカゲ

Eumeces kishinouyei (図版 F-1、F-2)

準絶滅危惧種 (NT)

日本固有種 国指定の天然記念物

畑に放置されていた金属製の流しの下で、調査の度に確認した。

(Ⅲ-3.4.5 西表島船浦 1)

5. サキシマカナヘビ

Takydromus dorsalis

日本固有種

腰の高さぐらいの草の上や地面で日光浴中のものを観察した。

(Ⅲ-5 西表島白浜 2)

ナミヘビ科 Colubridae

6. サキシママダラ

Dinodon rufozonatum walli (図版 E)

日本固有亜種

道沿いのコンクリートブロックの下にて確認した。

(Ⅲ-3 西表島美原 1)

メクラヘビ科 Typhlopidae

7. ブラーミニメクラヘビ

Ramphotyphlops braminus (図版 H)

土の上に放置されたコンクリートブロックや木材の下で確認した。

(Ⅲ-2 黒島 2) (Ⅲ-4 西表島南風見田 1)

(Ⅲ-5 西表島船浦 1)

クサリヘビ科 Viperidae

8. サキシマハブ

Trimeresurus elegans (図版 G)

日本固有種

土の下の木材の下で確認した。動きが遅く逃げなかった。

(Ⅲ-4 西表島南風見田 1)

Ⅲ. 鳥類

コウノトリ目 Ciconiiformes

サギ科 Ardeidae

1. アマサギ

Bubulcus ibis

(Ⅲ-1 石垣島 1) (Ⅲ-3 西表島船浦 6)

(Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 5) (Ⅲ-5 西表

島 4) (Ⅲ-6 石垣港～石垣嵩田 3)

2. ズグロミゾゴイ

Gorsachius melanolophus (図版 I)

(Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 2)

3. リュウキュウヨシゴイ

Ixobrychus cinnamomeus

(Ⅲ-2 黒島 1)

4. チュウサギ

Egretta intermedia

準絶滅危惧種 (NT)

(Ⅲ-3 西表島 2)

5. クロサギ

Egretta sacra (図版 J)

(Ⅲ-2 黒島 4) (Ⅲ-5 西表島船浦 1)

6. ムラサキサギ

Ardea purpurea

(Ⅲ-3 西表島 1)

カモ目 Anseriformes

カモ科 Anatidae

7. カルガモ

Anas poecilorhyncha

(Ⅲ-2 石垣島名蔵ダム 3)

タカ目 Falconiformes

タカ科 Accipitridae

8. ミサゴ

Pandion haliaetus (図版 K)

(Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 2)

9. サシバ

Butastur indicus

(Ⅲ-2 石垣島 3) (Ⅲ-2 黒島 1) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 3)

10. カンムリワシ

Spilornis cheela perplexus (図版 L)

絶滅危惧種 IA 類 (CR)

(Ⅲ-3 西表島船浦 2) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 5) (Ⅲ-5 西表島船浦 7) (Ⅲ-5 西表島マリユドゥの滝周辺 3) (Ⅲ-6 石垣港～石垣嵩田 1)

ハヤブサ科 Falconidae

11. ハヤブサ

Falco peregrines

絶滅危惧種 II 類 (VU)

(Ⅲ-5 西表島船浦 1)

12. チョウゲンボウ

Falco tinnunculus

(Ⅲ-3 西表島 1) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 1)

ツル目 Galliformes

クイナ科 Rallidae

13. シロハラクイナ

Amaurornis phoenicurus

(Ⅲ-1 竹富島 1) (Ⅲ-5 西表島船浦 4)

チドリ目 Charadriiformes

シギ科 Scolopacidae

14. ダイゼン

Pluvialis squatarola

(Ⅲ-2 黒島 3)

チドリ科 Charadriidae

15. ムナグロ

Pluvialis fulva (図版 M)

(Ⅲ-2 黒島 1)

16. イソシギ

Actitis hypoleucos (図版 N)

(Ⅲ-3 西表島船浦 1)

ハト目 Columbiformes

ハト科 Columbidae

17. リュウキュウキジバト

Streptopelia orientalis stimpsoni (図版 O)
 (Ⅲ-2 黒島 6) (Ⅲ-3 西表島 5) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 14) (Ⅲ-5 西表島船浦 4)

18. チュウダイズアカアオバト

Sphenurus formosa medioximus
 (Ⅲ-3 西表島古見 1)

19. カワラバト

Columba livia
 (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 2)

フクロウ目 Strigiformes

フクロウ科 Strigidae

20. リュウキュウコノハズク

Otus elegans
 (Ⅲ-5 西表島船浦 3)

21. リュウキュウアオバズク

Ninox scutulata totogo
 (Ⅲ-5 西表島船浦 1)

ブッポソウ目 Coraciiformes

カワセミ科 Alcedinidae

22. カワセミ

Alcedo atthis
 (Ⅲ-5 西表島マリユドゥの滝周辺 1)

スズメ目 Passeriformes

ツバメ科 Hirundinidae

23. ツバメ

Hirundo tahitica
 (Ⅲ-1 竹富島 5) (Ⅲ-3 西表島 4) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 21)

24. リュウキュウツバメ

Hirundo tahitica
 (Ⅲ-3 西表島 12) (Ⅲ-5 西表島船浦 2)

セキレイ科 Motacillidae

25. キセキレイ

Motacilla cinerea (図版 P)
 (Ⅲ-3 西表島船浦 2) (Ⅲ-4 西表島船浦 3)
 (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 4) (Ⅲ-5 西表島船浦 4)

26. ハクセキレイ

Motacilla alba lugens
 (Ⅲ-2 黒島 1) (Ⅲ-2 石垣島名蔵ダム 1)

27. ビンズイ

Anthus hodgsoni hodgsoni
 (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 5)

サンショウクイ科 Campeohagidae

28. リュウキュウサンショウクイ

Pericrocotus divaricatus tegimae
 (Ⅲ-5 西表島船浦 2) (Ⅲ-5 西表島マリユドゥの滝周辺 1)

ヒヨドリ科 Pycnonotidae

29. イシガキヒヨドリ

Hypsipetes amaurotis stejnegeri (図版 Q)
 (Ⅲ-1 竹富島 1) (Ⅲ-2 黒島 12) (Ⅲ-2 石垣島名蔵ダム 4) (Ⅲ-4 石垣島 6) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 19) (Ⅲ-5 西表島船浦 16) (Ⅲ-5 西表島マリユドゥの滝周辺 9) (Ⅲ-6 石垣港～石垣嵩田 1)

モズ科 Laniidae

30. オオモズ

Lanius excubitor (図版 R)
 (Ⅲ-5 西表島 1)

ツグミ科 Turdidae

31. ジョウビタキ

Phoenicurus aureoreus
 (Ⅲ-4 石垣島 1) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 18)

32. イソヒヨドリ

Monticola solitaries (図版 S)

(Ⅲ-2 黒島 1) (Ⅲ-2 石垣港～石垣嵩田 2)

33. トラツグミ

Zoothera dauma (図版 T)

(Ⅲ-2 黒島 1)

34. シロハラ

Turdus pallidus

(Ⅲ-1 石垣島 1) (Ⅲ-1 竹富島 3) (Ⅲ-2 黒島 24) (Ⅲ-3 西表島西表島船浦 6) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 18) (Ⅲ-5 西表島船浦 13) (Ⅲ-6 石垣港～石垣嵩田 1)

35. ツグミ

Turdus naumanni

(Ⅲ-2 黒島 13) (Ⅲ-3 西表島 1) (Ⅲ-4 西表島 12) (Ⅲ-5 西表島船浦 2)

ウグイス科 Sylviidae

36. ウグイスの1亜種

Cettia diphone subsp.

(Ⅲ-1 竹富島 1) (Ⅲ-2 黒島 4) (Ⅲ-5 西表島船浦 2)

37. セッカ

Cisticola juncidis

(Ⅲ-2 黒島 5) (Ⅲ-3 西表島 4) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 5) (Ⅲ-5 西表島船浦 1)

シジュウカラ科 Paridae

38. イシガキシジュウカラ

Parus major nigriloris (図版 U)

(Ⅲ-3 西表島船浦 1) (Ⅲ-4 石垣島 3) (Ⅲ-5 西表島マリユドゥの滝周辺 3) (Ⅲ-6 西表島船浦 2)

メジロ科 Zosteropidae

39. リュウキュウメジロ

Zosterops japonicus loochooensis (図版 V)

(Ⅲ-2 黒島 5) (Ⅲ-3 西表島 12) (Ⅲ-4 西

表島船浦 5) (Ⅲ-4 西表島船浦 16) (Ⅲ-5 西表島船浦 25)

ハタオリドリ科 Ploceidae

40. スズメ

Passer montanus

(Ⅲ-2 黒島 86) (Ⅲ-6 石垣港～石垣嵩田 2)

カラス科 Corvidae

41. オサハシブトガラス

Corvus macrorhynchos osai (図版 W)

(Ⅲ-1 竹富島 36) (Ⅲ-2 黒島 76) (Ⅲ-3 西表島船浦 33) (Ⅲ-4 石垣島 12) (Ⅲ-4 西表島豊原～南風見田 96) (Ⅲ-5 西表島船浦 18) (Ⅲ-5 西表島マリユドゥの滝周辺 13) (Ⅲ-6 石垣港～石垣嵩田 6)

キジ目 Galliformes

キジ科 Phasianidae

42. インドクジャク

Pavo cristatus (図版 X)

(Ⅲ-2 黒島 14)

IV. 哺乳類

哺乳綱 Mammal

偶蹄目 Artiodactyla

イノシシ科 Suidae

1. リュウキュウイノシシ *S.S.riukiuanus* (図版 Y)

日本産亜種

(Ⅲ-4 西表島船浦 足跡 1ex)

翼手目 Chiroptera

オオコウモリ科 Pteropodidae

2. ヤエヤマオオコウモリ *Pteropus dasymallus yayeyamae* (図版 Z)

亜種

(Ⅲ-3 西表島船浦 1ex) (Ⅲ-4 西表島南風見田 1) (Ⅲ-5 西表島船浦 1)

4. 考察

①両生類・爬虫類

今回の調査では、天候に恵まれずに晴れた日が1日しかなく(表1)、爬虫類や両生類の調査に向きであったが、それでも沖縄県の天然記念物のキシノウエトカゲ、前回の沖縄県八重山諸島の調査(桑原他, 2011)⁹⁾では見られなかったサキシママダラやブラーミニメクラヘビ等のヘビ類など記録された。また、今回は気温もあまり高くなかったためか(表1)、サキシママダラやサキシマハブ、キシノウエトカゲなどは発見時ほとんど動かないか、動きが鈍かった。

晴れた日に行った白浜の調査では日光浴をするサキシマカナヘビが見られるなど今回の調査では爬虫類が温度によってかなり行動を制限されているかが分かった。

また、温度が低いにもかかわらず、ヒメアマガエルの産卵やヤエヤマアオガエルの鳴き声が観察されたことより両生類にはあまり温度は関係ないように思われた。

今回の調査では固有種が多く確認されたが、外来種も何種か確認された。今後も継続的に調査をして、外来種の増減や固有種に対する影響をモニタリングし、保全対策を考える必要がある。

②鳥類

今回の調査では、以前の調査でも確認された、シロハラクイナやカンムリワシを初めとする複数の絶滅危惧種を記録することができた¹⁰⁾。これらの絶滅危惧種の中には、国内においては八重山諸島のみで生息するものがある。そういった種をどのようにして保全していくかは今後の重要な課題となりうる。また、ロードキルによって死亡する動物が居る一方、田畑を利用して餌を得る動物もいる。課題解決のためには、人間生活と鳥類保全をどのようにして調和させていくかが求められる。さらに、在来亜種についても考慮しなければいけない。絶滅危惧種の保全は重要であるが、そのために在来亜種が影響を受けないような配慮も必要である。それらのバランスを見極めるためにも、継続した調査とデータの収集が必要となる。

③哺乳類

今回の調査で哺乳類2種を確認したがどちらも

亜種であった。

西表島の南風見田では、昼間にヤエヤマオオコウモリを1個体確認した。また、西表島船浦での夜間調査で、ヤエヤマオオコウモリを2個体確認した。1個体が、道沿いの木にとまっており、比較的に見つけやすい場所にいた。懐中電灯で明るく照らすと、顔を後ろに向ける個体があった。夜間に確認した1個体は、しばらくこちらを窺っており、すぐに飛んで逃げることはなかった。

リュウキュウイノシシの足跡(畑を掘り返した跡)は、西表島の船浦にある畑で確認した。イノシシを含め動物の捕獲等は原則禁止になっている特別保護地区を除き¹¹⁾、西表島ではイノシシの狩猟が行われており、イノシシ肉が商品価値をもつ。持続的な狩猟が行われるためにも、自然と人間生活との共存を考えていく必要がある。

5. 謝辞

本調査を行うにあたり、西表島に滞在中にお世話になった「みはらし旅館」の方々、英文作成に協力して頂いた新倉早紀氏、八重山諸島の地図を提供していただいた桑原 崇氏、これらの方々にご心より深く感謝します。

6. 要旨

2011年3月1日～3月6日に沖縄県八重山諸島(石垣島、西表島、竹富島、黒島)において近畿大学農学部里山修復プロジェクトの生態調査班の両生爬虫類班、鳥類班、哺乳類班を中心とするメンバーによって調査を行った。今回の調査では両生類3科3種、爬虫類6科8種、鳥類22科42種、哺乳類2科2種が確認された。その中には沖縄県の天然記念物に指定されているキシノウエトカゲやカンムリワシ、1971年以降琉球列島で記録されだしたオガサワラヤモリや人為的分布とされるブラーミニメクラヘビなどが記録された。

7. 引用文献

- 1) 日高敏隆・千石正一・疋田努・松井正文・中谷一宏(1996)日本動物大百科5 両生類・爬虫類・軟骨魚類, 192pp. 平凡社, 東京
- 2) 内山りゅう・前田憲男・沼田研児・関慎太郎

- (2002) 決定版 日本の両生爬虫類. 335pp.
平凡社. 東京
- 3) 松橋利光・富田京一 (2007) 山溪ハンディ図鑑10 日本のカメ・トカゲ・ヘビ. 256pp.
山と溪谷社. 東京
 - 4) 松橋利光・奥山風太郎 (2007) 山溪ハンディ図鑑9 日本のカエル. 192pp. 山と溪谷社.
東京
 - 5) 大谷 勉 (2010) 日本の爬虫類・両生類飼育図鑑. 526pp. 誠文堂新光社. 東京
 - 6) 真木広造・大西敏一 (2001) 日本の野鳥590. 654pp. 平凡社. 東京
 - 7) 阿部 永・石井信夫・伊藤徹魯・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 (2008) 日本の哺乳類. 206pp. 東海大学出版会. 神奈川.
 - 8) 沖縄県天然記念物マップ <http://rca.open.ed.jp/nature/type/animal/index.html> 2011年11月参照.
 - 9) 桑原 崇・曾我部陽子・山本裕太・鳥居憲親・鈴木賀与・前潟光弘・桜谷保之 (2011) 沖縄県八重山諸島で記録された両生類・爬虫類. 近畿大学農学部紀要第44号 163～169pp.
 - 10) 鈴木賀与・鳥居憲親・桑原崇・寺田早百合・牛田 博・前潟光弘・桜谷保之 (2011) 沖縄県八重山諸島で記録された鳥類. 近畿大学農学部紀要第44号 151～161pp
 - 11) 自然環境事務所ホームページ http://kyushu.env.go.jp/naha/pre_2007/1112b.html 2011年10月参照



A-1. ヤエヤマアオガエル成体 (SI)



A-2. ヤエヤマアオガエル卵塊 (AH)



B-1. ヒメアマガエル成体 (SI)



B-2. ヒメアマガエル卵塊 (SI)



C. サキシマヌマガエル (SI)



D. サキシママダラとホオグロヤモリ (AH)



E. ミナミヤモリ (SI)

図版1. 2011年3月の調査で記録された生物



F-1. キシノウエトカゲ (AH)



F-2. キシノウエトカゲ (SI)



G. サキシマハブ (SI)



H. ブラームニメクラヘビ (SI)



I. ズグロミソゴイ (RK)



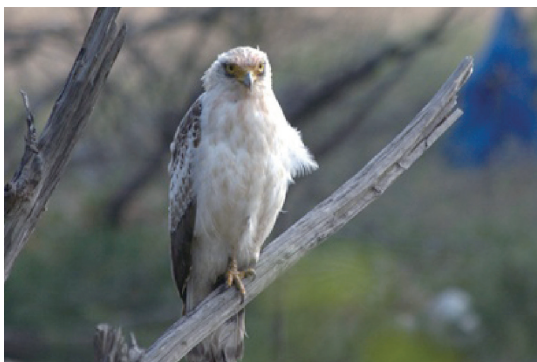
J. クロサギ (RK)



K. ミサゴ (RK)



L-1. カンムリワシ (RK)



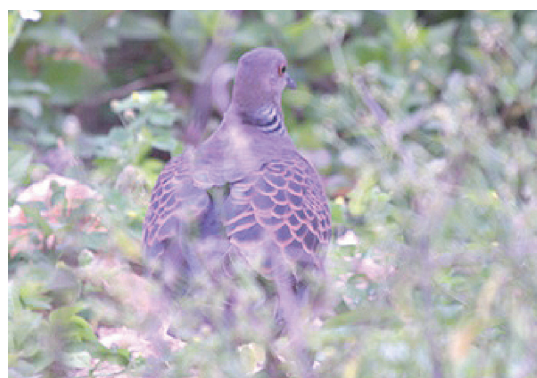
L-2. カンムリワシ幼鳥 (RK)



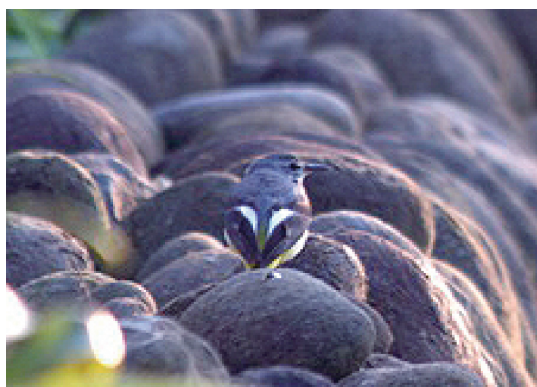
M. ムナグロ (RK)



N. イソシギ (RK)



O. リュウキュウキジバト (RK)



P. キセキレイ (RK)



Q. イシガキヒヨドリ (RK)



R. オオモズ (RK)



S. イソヒヨドリ (RK)



T. トラツグミ (RK)



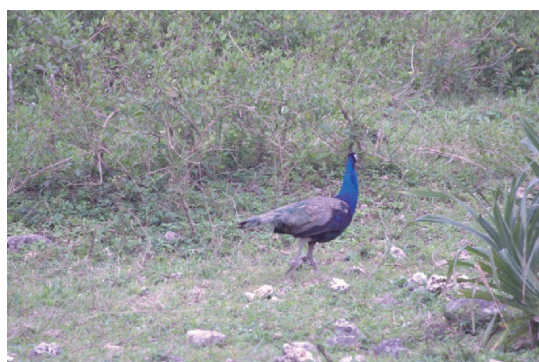
U. イシガキシジュウカラ (RK)



V. リュウキュウメジロ (RK)



W. オサハシブト (RK)



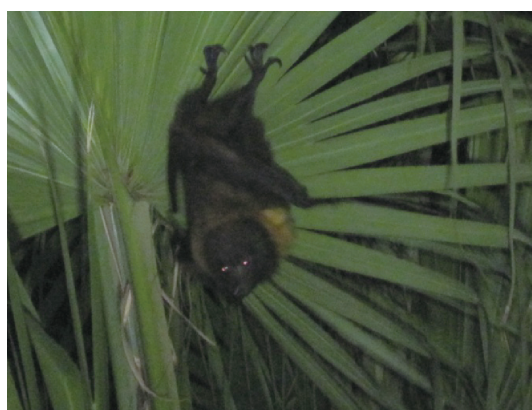
X-1. インドクジャク (RK)



X-2. インドクジャク白色型 (SI)



Y. リュウキュウイノシシ足跡 (SI)



Z. ヤエヤマオオコウモリ (AH)

付表1. 前回（2010年）と今回（2011年）で記録された両生類・爬虫類

和名	○：確認		－：確認されず	
	2010年3月		2011年3月	
オオヒキガエル	○		－	
ヤエヤマハラブチガエル	○		－	
ヤエヤマアオガエル	○		○	
アイフィンガーガエル	○		－	
サキシマヌマガエル	○		○	
ヒメアマガエル	○		○	
ヤエヤマセマルハコガメ	○		－	
ヤエヤマイシガメ	○		－	
ホオグロヤモリ	○		○	
ミナミヤモリ	－		○	
オガサワラヤモリ	－		○	
サキシマキノボリトカゲ	○		－	
イシガキトカゲ	○		－	
キシノウエトカゲ	○		○	
サキシマスベトカゲ	○		－	
サキシマカナヘビ	○		○	
サキシママダラ	－		○	
ブラーミニメクラヘビ	－		○	
サキシマハブ	－		○	

付表 2. 前回 (2010 年) と今回 (2011 年) で記録された鳥類

和名	○：確認		－：確認されず	
	2010 年 3 月		2011 年 3 月	
カイツブリ	○		－	
アマサギ	○		○	
チュウサギ	○		○	
コサギ	○		－	
クロサギ	○		○	
ムラサキサギ	○		○	
ズグロミゾゴイ	－		○	
リュウキュウヨシゴイ	－		○	
カルガモ	○		○	
キンクロハジロ	○		－	
スズガモ	○		－	
ミサゴ	○		○	
サシバ	○		○	
カンムリワシ	○		○	
ハヤブサ	○		○	
チョウゲンボウ	○		○	
シロハラクイナ	○		○	
バン	○		－	
ダイゼン	－		○	
ムナグロ	－		○	
ツルシギ	○		－	
キアシシギ	○		－	
イソシギ	○		○	
チュウシャクシギ	○		－	
タシギの一種	○		－	
セイタカシギ	○		－	
リュウキュウキジバト	○		○	
チュウダイズアカアオバト	○		○	
カワラバト	－		○	
リュウキュウコノハズク	○		○	
リュウキュウアオバズク	○		○	
カワセミ	○		○	
ツバメ	○		○	
リュウキュウツバメ	○		○	
ハクセキレイ	－		○	
キセキレイ	○		－	
ビンズイ	○		○	
リュウキュウサンショウクイ	○		○	
イシガキヒヨドリ	○		○	
シマカマモズ	○		－	
オオモズ	○		○	
アカヒゲの一種	○		－	
ジョウビタキ	○		○	
イソヒヨドリ	○		○	
トラツグミ	○		○	
ツグミ	－		－	
シロハラ	○		○	
ウグイスの一種	○		－	
セッカ	○		○	
リュウキュウキビタキ	○		－	
ムギマキ	○		－	
イシガキシジュウカラ	○		○	
リュウキュウメジロ	○		○	
スズメ	○		○	
ハシボソガラス	○		－	
オサハシブトガラス	○		○	
インドハッカ	○		－	
インドクジャク	○		○	